

研究課題名	質量分析機器による法医剖検試料中のオミックス解析
研究の意義・目的	法医剖検例において、心臓性疾患や熱中症などの死因は特異的な所見が乏しく、死因鑑定に苦慮することがあります。そのような死因を鑑定する場合は、これまでの経験的な知見や発見時の状況などから総合的に判断していることが多くなっています。一方、近年、細胞の活動によって生じる特異的な分子を網羅的に解析するメタボロミクスや生体内の細胞や組織における、タンパク質の構造・機能を総合的に解析するプロテオミクスという手法が病気診断などの分野で使用されつつあり、本研究では質量分析機器(LC/MS)を用いて法医剖検試料中に含まれる代謝物や <u>タンパク質</u> を網羅的に分析し、死因鑑別のための新たな法医診断マーカーの探索を行います。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2026年3月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2010年1月～2025年12月に大阪公立大学医学部法医学で、司法解剖された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	死因鑑定の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 試料：【血液・尿・心膜液・硝子体液・左右胸腔内液・腹腔内液・脳脊髄液などの体液試料および肝臓、腎臓、脳などの組織試料】 診療情報等：【年齢、性別、死亡過程までの情報、死因に関する情報、死後経過時間、発病後経過時間、中毒学的検査結果：薬物定性・定量結果など】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪公立大学医学部法医学のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪公立大学医学部法医学のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 法医学 研究責任者 谷 直人
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪公立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 法医学 (担当者氏名) 谷 直人 メールアドレス： gr-med-legalmed@omu.ac.jp